

議会基本条例シンポジウム開催



黒沢議長のおあいさつ



基調講演

山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏



テーマ「市民とともに歩む議会をめざして」

パネルディスカッション

左から 会津若松市議会議員 松崎 新 氏・飯田市議会議員 中島武津雄 氏
滝沢村自治会連合会 会長 瀬川幸男 氏 新成人議会参加者 佐々木菜摘 氏
議会基本条例策定特別委員会 委員長 角掛邦彦 氏

10月12日に行なわれた「議会基本条例シンポジウム」は、村内外から260名のご参加をいただき開催され、条例制定にむけての第一歩として実りあるものでした。約2年にわたる議会内での検討結果を報告させていただき、会場の皆さんから貴重なご意見も頂戴致しました。今後は、10月末より、行なわれる議会報告会とおして、みなさまよりさらなるご意見をいただきながら、今以上に充実した条例づくりを進めてまいります。

滝沢村議会は「開かれた議会」「市民とともに歩む議会」「行動する議会」をめざしています。これからも議会の動きにご注目下さい。

産業まつりにて

秋の歌声

第31回滝沢村産業まつりにおいて、滝沢村議会が10月5日に初めて舞台参加を致しました。議会基本条例シンポジウムのご案内を含めて、議長、副議長のカラオケに続き、議員全員で「ふるさと」を合唱しました。



♪打合せも念入りに！



「ふるさと」を合唱

大規模公共施設整備調査特別委員会報告書

- 調査日／平成24年 11月 7日(水) 11月28日(水)
12月 7日(金)
- 平成25年 2月20日(水) 3月19日(火)
4月25日(木) 5月15日(水)
5月31日(金) 6月19日(水)
7月 2日(火)～3日(水)
9月12日(木) 9月17日(火)

- 委員長 長内 信平
- 副委員長 相原 孝彦
- 委員 武田 哲子
- 佐藤 澄子
- 高橋 寿二
- 藤原 健

■調査事項／(仮称)滝沢村交流拠点複合施設・(仮称)滝沢中央小学校等の大規模な公共施設を整備するうえで、必要な事項を調査することについて

■調査先／役場 住民環境部交流拠点整備室 教育委員会事務局教育総務課
岩手県奥州市、宮城県栗原市、山形県村山市、山形県西村山郡西川町

(仮称)滝沢村交流拠点複合施設について

基本計画が縮小され、採択要因になった大屋根をモチーフにした独特な素案がコンパクトになり、大ホールの機能内容が変更され、会議室やパブリックスペースが縮小しているが、建物の屋根が岩手山の稜線をモチーフとした特徴と、ガラス張りの外観や、吹き抜けの大ホールが確保されていることなどから、基本計画における施設の規模、設備等は概ね妥当なものと考えられる。また、再生可能エネルギー設備も導入されており、適切な対応と判断するものである。

また、会議室が少ないとの意見もあり、将来を見据えた対応をするべきである。なお、キッズルームや相談室は子育て中の方々の意見、ワークシヨップや各部会の意見を充分取り入れ反映するべきと考える。

防災広場は消防訓練やイベント会場としての利用も考えられるため、屋外用トイレの設置やその配置、夜間照明施設等の設置が必要と考える。駐車場には、障がい者、妊婦用の駐車スペースへの屋根を設置することや、防災広場の利用計画を見直し、全面舗装化をして駐車台数を確保するべきと考える。

(仮称)滝沢中央小学校について

上山方面や産業雇用創造センターへの往来等で通過車両の増加が見込まれ、現在の交差点では不安があり歩行者専用通路の検討が必要である。なお、本施設は多くの高齢者の利用が予想されており、交通の拠点機能も考慮し交通網の強化をすべきと考える。

併設の産業雇用創造センターは、本村の産業振興の観点からも歓迎すべき施設である。唯一の公設の産直施設として、住民の交流促進と産直販売による地域経済の活性化を図り、今後の滝沢市の都市づくりをする上で重要な施設であり、中心拠点形成に寄与する施設であると考える。

地元分団の懸案だった消防屯所の新設は、四分団や地元の意見を反映した建設計画であり、十分な施設計画と考える。

最後に、滝沢市が2014年1月1日に誕生し、その新市の顔としての交流拠点複合施設の建設事業が、予定する時期に無事竣工することを願って「(仮称)滝沢村交流拠点複合施設について」の調査は終了する。

建設する校舎を、木造化・木質化をし、木材のぬくもりを子供たちが味わい、自然の尊さを校舎から実感できるものと考え、耐火性は勿論のこと、耐久性と建築コストを度外視できないものと考え、予算が許す範囲内で木質化校舎と、机や椅子の木工製品の実現を促すものである。

また、木材は産業振興上からも村内、県内産木材を使用し、村内企業の参画を増やす努力も必要である。

今後は、建設用地の課題を確認するとともに、基本設計の提出を確認するまで引き続き調査していくことを申し添え、「(仮称)滝沢中央小学校について」の中間報告とする。